



平成 17 年 11 月 1 日

各 位

会社名 小野建株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 建
コード番号 7414 東証第一部・福証
本社所在地 大分県大分市大字鶴崎 1995 番地の 1
問合せ先 代表取締役専務管理統括本部長 小野哲司
093-561-0036

平成 18 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 7 月 4 日に発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間業績予想の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	56,072	2,356	1,146
今回修正予想 (B)	56,570	2,035	1,153
増減額 (B - A)	498	321	7
増 減 率 (%)	0.9	13.6	0.6
(ご参考)前中間期実績	48,482	3,624	1,995

2. 平成 18 年 3 月期中間連結業績予想の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	55,962	2,506	1,228
今回修正予想 (B)	56,383	2,249	1,254
増減額 (B - A)	421	257	26
増 減 率 (%)	0.8	10.3	2.1
(ご参考)前中間期実績	48,498	3,893	2,134

3. 平成 18 年 3 月期業績予想の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	1 1 5 , 1 9 3	4 , 8 5 0	2 , 5 1 7
今回修正予想 (B)	1 2 0 , 7 9 0	4 , 4 6 7	2 , 4 4 0
増減額 (B - A)	5 , 5 9 7	3 8 3	7 7
増 減 率 (%)	4 . 9	7 . 9	3 . 1
(ご参考)前期実績	1 0 8 , 2 5 4	6 , 7 9 1	3 , 7 8 9

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 126 円 73 銭

4. 平成 18 年 3 月期連結業績予想の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	1 1 4 , 9 7 3	5 , 1 5 0	2 , 6 8 2
今回修正予想 (B)	1 2 0 , 5 7 0	4 , 7 6 7	2 , 6 0 6
増減額 (B - A)	5 , 5 9 7	3 8 3	7 6
増 減 率 (%)	4 . 9	7 . 4	2 . 8
(ご参考)前期実績	1 0 8 , 0 5 3	7 , 3 5 5	4 , 0 9 6

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 135 円 48 銭

5. 修正理由

需要面において依然公共需要は伸び悩んではいるものの、民間設備投資を中心に民間需要は徐々に回復傾向となっていることから、鉄鋼商品での計画どおりの販売数量を確保し売上高は順調に推移しました。

しかしながら、国内鉄鋼メーカーによる、減産体制の継続での需給バランス安定化と市況維持の政策にもかかわらず、鉄鋼商品の国内外価格差の拡大により、中国等の安価な輸入品を中心として市中在庫が増加しました。その結果当中間期においては、鉄鋼商品市況が弱含みで推移したことから在庫出荷分を中心に利益率が低下し、経常利益においては前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、固定資産売却益の発生により特別利益が増加し、当期純利益は予想を上回りました。

通期予想につきましては、鉄鋼市況が依然として弱含みで推移するなかで仕入価格の低減に努め、利益率の向上を目指してまいるとともに、従来からの基本戦略である「販売シェア向上と販売エリアの拡大」を推し進め、鉄鋼商品の販売数量の確保ならびに建設機材類の売上増加に注力し、業績の向上をはかってまいります。

上記予想の内容は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は鉄鋼商品市況ならびに需要動向により大きく変動する可能性があります。

以 上